

意見書案第 1 号

金権腐敗政治の一掃を求める意見書

上記の議案を別紙のとおり東近江市議会会議規則第 14 条の規定により提出します。

令和 6 年 3 月 11 日

東近江市議会議長

西 澤 由 男 様

提出者

東近江市議会議員 廣 田 耕 康

賛同者

東近江市議会議員 田 郷 正

東近江市議会議員 山 中 一 志

金権腐敗政治の一掃を求める意見書

岸田内閣と自民党の支持率低迷が止まりません。時事通信の世論調査で、内閣支持率は令和5年12月、令和6年1月ともに20%未満でした。政党支持率では令和6年1月、自民党は野党時代を除くと1960年の調査開始から最低の14.6%でした。

今、自民党の裏金作りに国民の怒りが高まっています。自民党は、政治資金パーティーの名で、脱法的に企業・団体献金を長期に渡って集めながら政治資金報告書を偽造し、裏金をつくっていました。物価高騰の中、暮らしを守るために必死の国民を尻目に、裏金づくりをしていたことに怒りは頂点に達しています。

岸田首相が慌てて宣言した「派閥解消」だけで許されるはずもなく、国会での証人喚問は当然です。金権腐敗政治の根を断つためには、企業・団体による政治資金パーティー券購入含め、企業・団体献金の全面禁止が必要です。

誰がこのシステムをつくり育て活用したのか、裏金は何に使われたのか、全容解明なくして再発防止はありません。解明なくして国民の政治と金にかかわる不信を解消する改革はできません。関わったすべての政治家全員の証人喚問こそ求められています。

よって以下の対策をとることを強く求めます。

- 1 政治資金パーティー券購入を含めて企業・団体献金を全面的に禁止すること
- 2 裏金づくりに関与した政治家全員の証人喚問を行うこと

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

2024年3月 日

東近江市議会議長 西澤由男

提出先 内閣総理大臣
衆議院議長
参議院議長
法務大臣
財務大臣
自由民主党本部